

令和7年10月10日

保護者様

横浜市立汐見台小学校

校長 高村 彰一

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に6年生で実施した「令和7年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省より提供されました。調査結果について本校の概要をお知らせいたします。なお、調査結果で見えてきた課題については、校内委員会で検討し、今後の指導に活かしてまいります。

調査は、国語・算数・理科の3教科と学習意欲に関する意識調査にわたって行われました。

☆調査の結果 (数字は平均正答率) (%)

	国語	算数	理科
本校	77	74	65
全国	66.8	58	57.1

☆分析及び改善の手立て

国語	全ての問題で全国平均を上回っており、特に「書くこと」の領域については、他の領域よりも高くなっている。一方で、「読むこと」の領域については、全国平均を10%以上上回ってはいるが、他の領域よりも正答率が低い。必要な情報を適切に読み取り、目的に応じて文章と情報とを結びつけることに課題があるため、複数の資料から適切な情報を抜き出したり、結びつけて考えたりする活動を通して、必要な情報を見つける事ができるようにしていく。
算数	全ての問題で全国平均を上回っている。特に「数と計算」「図形」の領域については、全国平均を20パーセント以上上回っているものも複数ある。今の力をさらに高めるために、計算や作図の学習を継続する。一方で「データの活用」の領域や、記述式で回答する問題については、他の問題に比べて正答率が低い。データを基に考えたことを伝え合ったりする活動や、学習の中で式や考えを書いたり説明したりする活動を多く行っていく。
理科	全ての領域で全国平均を上回っており、特に「地球」を柱とする領域についての正答率が他の問題に対して高くなっている。また、評価の観点別では、知識・技能を問う問題の正答率が比較的低い。実験や観察の技能を高め、学習内容の定着を図るために、実験・観察の器具を正しく扱ったり、学習した内容を各自がまとめ、知識として身に付けたりできるよう、学習を行っていく。